

現代文の心得

① 最低でも一日一題は解く。

↓最初のうちは時間無制限で良い。

↓時間無制限は、根拠を見つける癖をつけるためであり、

選択肢比較に時間を使うのはナンセンス。「思考」する時間を増やすための時間。

② 課題文をカミクダク

↓ただ読むだけなら小学生でもできる。カミクダクことが大切。

↓カミクダクとは

サルでもわかるような説明をすることが鍵となる。

指示語、接続語、比喻を分かり易く言い換えることがカミクダク事の根幹。

③ 問題文に自分なりのマークを付ける

↓接続語の「しかし・また・つまり・要するに・したがって」などにマークせよ。

*特に逆説や要約の後には作者の意見が表されているため、要チェック。

*問題文を白文のまま解いている人がいるが、マーキングすることでヒントが増える
と欲している。

④ 問題製作者と対話せよ

↓このことについて理解している学生が少ないが、問題を作っているのは作者ではない。
問題製作者が何を答えてほしいのか、何をひっかけとしているのかを予測して、答え
を導かなければ正答にはならない。

⑤ 語彙を増やす

↓英語や社会、数学と違って覚えるべき単語が明確ではないが、語彙力がなければ現代
文は解けない。知りませんでしたで通用する世界ではない。薄い一冊でいいので現代
文用の単語集をやる。

⑥ ニュースを見る

↓これは現代文に限ったことではないが、試験問題は現代に関係することベースにして
問題を作成している。世界史や日本史など過去のことばかりではなく、「現代」につい
てより関心を持つことでヒントが増える。